



来て
見て
楽しい

～児童たちのアイデアを河川整備に～



来見川

この来見川は土山小学校の児童がアイデアを出し合い整備されたもので、川へ降りる階段や、飛び石などが設けられています。児童たちのアイデアが反映されているということもあり、子どもでも安心して遊べる場所になりました。

整備が完了し、児童たちとともに記念式が開催され、児童たちは来見川周辺に桜の木などを植樹しました。

川のせせらぎとともに、みんなの音が響く、そんな来見川になってくれるでしょう。

『小さなコミュニティが日本を作る。ひとりのアイデンティティが世界を変える。自らが住む地域に誇りを持てる町づくりを！』をモットーに4年前に始まり、地域の良いところを見つけ、まちづくりに生かしていこうというものが「いい顔づくり」事業です。

過去の事業として住民アンケート、鶏鳴の滝(信楽町神山)で流しそうめん大会、大戸川で魚つかみ大会、もみじを植える事による鶏鳴の滝紅葉名所プロジェクト、子どもの遊び場づくり、笹ヶ岳(同神山)整備、「信

楽最高峰笹ヶ岳にたぬきが登る」、こやまDEFリマ(フリーマーケット)などを実施してきました。今回は3月6日に「笹ヶ岳山頂付近にある寺跡で元日の朝、二年の幸福を告げるため、金色のニワトリが古井戸から現れる」という地元の伝説にちなみ、黄金の鶏を井戸脇に据え付けました。この鶏は地元陶芸家が製作し、尾には金箔が張ってあります。

【問い合わせ】
神山区いい顔づくり委員会
信楽町神山1346 神山会館 ☎82-0012

黄金のニワトリが出現!

『いい顔づくり』事業(信楽町神山区)



▲山頂では展望ベンチを設置!
▼黄金の鶏を設置!





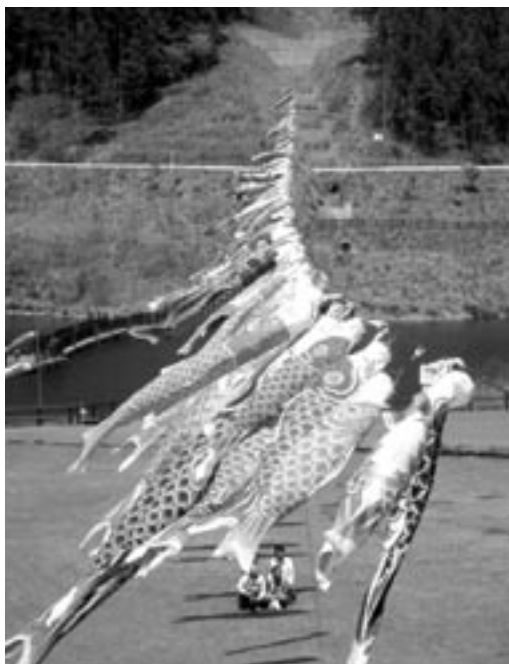
いろんな鯉がスイスイ

～青土ダムの鯉のぼり～

土山町にある青土ダムでは毎年ゴールデンウィーク期間中にたくさん鯉のぼりが泳ぎます。これは鮎河緑化クラブの会員の方々が、各家庭で使わなくなった鯉のぼりを集め、もう一度泳がせてあげようと企画されたものです。これまでクラブの会員の方々が、鯉のぼりを泳がせていましたが、昨年からは来られたお子さんにも手伝ってもらっているそうです。



▲気持ち良さそうに泳ぐ鯉のぼり



▶ 様々な鯉のぼりが泳ぎます

この美しい景色の中を気持ちよさそうに泳ぐ鯉のぼりは土山マラソンの際にも登場し、好評を得ているそうです。

期間 ● 5月5日(木)まで

市民ギャラリー 岡田吉次

ウッドワーク展

土山町黒川で木工芸術品を手がけておられる岡田吉次さんの空間を演出するオブジェの数々を展示します。地元で産出される杉・檜等の材料を使った木工作品を主に、特に今回は大変めずらしい生立木染の木を使用した作品をご覧ください。

生立木染とは、成木時に木の根に何色かの染料を置き、養分と一緒に木自身が吸い上げたものです。樹種、木の大きさ、染料の種類によっても吸い上げ方が異なり、染まり具合が決まりにくいのも特徴です。木の導管の中を通っているため、後に着色したものと大きく違って、透明感のある鮮やかな色が木自身も混ざり合って、表現できない繊細な色合いを創っています。ひとつしかない天然木の色のハーモニーをお楽しみください。

■ 期間
5月2日(月)～5月27日(金)
平日の8:30～17:15

■ 場所
土山支所一階ロビー

■ 問い合わせ
土山支所 66-1101



▶ 重厚で艶のある美しい木目の檜

▶ 木目に美しい彩りを添える立木染





水口曳山祭

4月19日(火)・20日(水)の両日、水口神社では水口囃子が響きわたりました。

現在町内には16基の曳山があり、今年は東町、こめやまち米屋町、ゆやまち湯屋町、おひけまち大池町、まつぼらちまう松原町、かわちまち河内町の6基が巡行しました。あいにくの天候でしたが、水口囃子の音色に皆さん感動されていました。



区民手づくりの桜まつり

このまつりは地区の村おこし事業の二環として行われたもので、ライトアップに浮かびあがる桜の花のもと、地域の方々があちこちで談笑、和気あいあいのうちに時間も過ぎ去りました。相子地区では、実行委員会が中心となり、この桜まつりの他にも大晦日のカウントダウンイベントや、夏まつり等も開催され、地域の絆を深めておられます。また区民が高月町や近江八幡市、東近江市などへまちづくりの視察に行かれるなど積極的に活動されており、今後の素敵なまちづくりが期待されます。

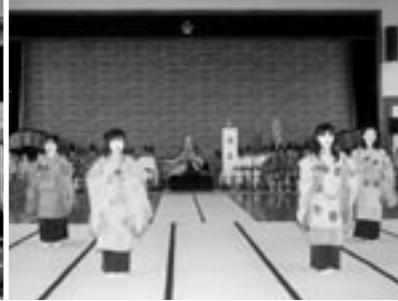
甲南町柑子地区で「むらづくり実行委員会(会長 辻金雄)」主催による柑子さくらまつりが、4月16日(土)に開催されました。



桜の下で地域のコミュニケーション



和太鼓六友会の力強い演奏



童女たちのかわいいお発ち舞



春の日差しに映える襷ぎ式の一瞬



旅の無事を祝う女別当、内侍、命婦たちのお着ぎ舞



お茶で一息。長い旅、おつかれさまでした。



茶畑の中を群行が厳そかに進みます



美しい松並木の中を進む群行



采女、女婦たちによる道中舞



厳肅さをよりいっそう引き立てる滋賀雅楽会の演奏

雅やかな平安絵巻の世界へようこそ

第八回 あいの土山齋王群行

開催!!

遠い昔、歴代の齋王たちが歩み続けた齋王群行が今年も、3月27日に「あいの土山」に蘇りました。当日は澄み渡った青空の下、春を告げる暖かな日差しをうけ、群行は旧東海道を厳かに雅やかに進み、無事垂水頓宮跡にたどり着きました。

梅の香りがどこからともなく漂ってきたような陽光うららかな春の日、力強い六友会の和太鼓の響きが齋王群行の始まりを告げました。大野小学校校庭に作られた夢の小川では、滋賀雅楽会のメンバーによる雅楽が奏でられる中、「襷ぎ式」が始まりました。

宮跡へ到着しました。肅々とした森の中に再び雅楽の旋律が流れ、まさに雅の世界といった会場の中で女別当と内侍と命婦によるお着ぎ舞が披露されました。平安の舞台と化した森の中では最後の締めくくりである「呈茶の儀」が行われ、齋王に地元土山茶が献上されました。

市には古い歴史と多くの文化財があります。平安朝の雅の世界を再現することのような行事を通じて、少しでも歴史の世界に触れる機会になればと考えます。

●齋王
「齋王」とは、歴代天皇の御即位ごとに天皇の御名代として天照大神の御杖代に遣わされた未婚の皇女または女王のお方のことで、齋王は十二単衣をまとい、御腰輿に乗って群行されました。

●垂水頓宮跡
齋王が群行で泊まれたところを頓宮といい、京の都から伊勢まで5か所(勢多・甲賀・垂水・鈴鹿・志志)に頓宮が置かれ、群行が行われるごとに新たに建造され、群行が終わるとすぐ解体されました。この垂水頓宮跡は長年、地元の方たちにより大切に保存されてきたおかげで昭和10年、内務省の現地踏査により唯一頓宮跡地であることが実証され、昭和19年には国の史跡(文部省)に指定されています。

【問い合わせ】
あいの土山文化ホール
☎66-11602



ご利用ください!

～甲南創造の森に公衆トイレが完成～

JR草津線の寺庄駅近くにある甲南町創造の森(甲南町寺庄)に4月3日(日)公衆トイレが完成しました。

自然にマッチしたログハウス調の建物で、夜間照明はセンサーでの自動感知とし、身体障害者の方にも配慮した施設となっています。

創造の森は、平成7年度から3年間かけ、植栽、森林内道路、作業施設などを整備し、自然とのふれあいを体験し、森林の大切さ、森の安らぎを肌で感じていただける施設です。

訪れた皆さんに、今回完成したトイレを快く利用いただければうれしく思います。

▲ 小鳥のさえずる森には散策道があります。



▲ 新しく完成した公衆トイレ

さらなる挑戦!

～車いすマラソンランナー 伊藤智也さん

多発性硬化症という難病を抱えながらも、アテネオリンピック日本代表として出場された伊藤智也さん。伊藤さんは三重県出身、34歳のときに発病し、下半身と左目の視力を失い、またこれまでも3度、呼吸停止という状況もあったそうです。車いすマラソンを始めるきっかけとなったのは、車いすのカタログを見て「かつこいい!」と思ったものが、競技用のものだった」と語っておられました。高低差200mというアテネ



北京大会での金メダルをめざす伊藤さんでのマラソンコースを想定し、土山マラソンのコースが練習するには最も適した場所であるとのこと、何度も土山町を訪れておられます。アテネ大会では800m、1,500m、5,000m、フルマラソンに出場されました。現在、2008年の北京オリンピックに向けて練習に励んでおられます。皆さんも伊藤さんを見かけたら応援してください。